

会員数 59名 出席者38名・欠席者17名・免除会員10名
欠席者 麻田・福田・後藤・稲田・和泉享・加内・松山・岸上・中野昌・曾川
大山・神余・松村・齋賀・谷川・高岡・横田・会員

前々回出席率 83.9%(12/1)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会長 和泉 清憲
幹事 細谷 誠
会報委員長 大西 信亮

お知らせ

- 12月のプログラム
 - 1 (No.1)-年次総会
 - 10 (No.2)-市民講座
 - 15 (No.3)-クラブフォーラム
 - 22 (No.4)忘年会
 - 29 (No.5)休会

ニコニコBOX;
よいことがありました
秋山憲夫君
60周年記念事業市民講座
前半の部修了いたしました
2月からの後半戦もよろしく
お願いいたします

岡田君

2670地区がバナー杯野球大会
準優勝。八田Gより表彰状を
いただきました

増田君

娘が自己推薦で大学が決まり
ました。国公立大学合格は
本当にありがたいです

飯間君

<ニコニコ会計累積/ ¥240,000>

がんばるBOX;なし
よいことがありました
真鍋君

<がんばる会計累積/ ¥119,000>

例会場・事務局

丸亀市塩飽町50-3 丸亀プラザホテル内

■会長挨拶

ダイバーシティ DIVERSITY

個人や集団の間に存在しているさまざまな違い

人材の多様性を認めるだけでなく、積極的に労働市場で採用、活用しようという考え方
多様性・相違点・多種多様性

年齢 性別 国籍 学歴 職歴 人種 民族 宗教 性的指向 性自認

企業におけるダイバーシティ

・人権

・少子高齢化によって引き起こされる労働力人口減少に対応できる人材確保

人種・宗教・価値観・性別・障がい者・ライフスタイル

ダイバーシティマネジメント

組織内における個人の多様性をマネジメントして、ビジネス市場で優位に立てるよう組織全体を管理する手法

ダイバーシティマネジメントでは、多様性を生かすことが事業の成長と企業の発展を促す多様な人材を活かす戦略

ダイバーシティの種類分類



表層的と深層的



ダイバーシティとインクルージョン(総合)

日本社会の変化

単一民族・島国、閉鎖的 国際社会への進出(グローバル化)

労働人口の減少

働くことへの意識や価値観

- ・自己の能力が生かせる企業の選択
- ・ワークライフバランスを重視する働き方の選択
- ・多様化した雇用意識や価値観への対応
- ・多様なニーズに対する柔軟なマネジメント
- ・個々の能力の発揮
- ・モチベーションの向上
- ・企業との信頼関係の構築

ダイバーシティ推進における課題

- ・多様な価値観が混在することによる軋轢や対立、誤解
- ・国籍や人種、第一言語などの違いによるコミュニケーションへの弊害
- ・多様な意見の調整難航によるチームワークパフォーマンスの低下
- ・誤認識や無意識のハラスメントの発生

■幹事報告

- ①3月18日IMの案内が届いております。今年度は幹事クラブが丸亀東RCで場所もオークラホテルですので、是非多くの参加をお願いいたします。
- ②先週の市民講座に際しましては、コロナ再拡大ということもあろうかとは思いますが、会員の参加が少なく25名程度に留まりました。講演者の方にもご苦勞を掛けていますので、ぜひ積極的にご参加ください。

■例会事業:青少年奉仕委員会クラブフォーラム 山本広之委員長
 青少年奉仕委員会事業計画は例年通りの内容に加えて60周年事業があります。満濃町出身で丸亀高校を卒業された平井慶祐氏による「10年の幸福写真」写真展を行います。日時は2023年2月3日(金)、4日(土)、会場はマルタスになります。自分自身の幸福について考えるきっかけにしたいなと考えています。



そもそも、幸福とは何でしょうか。

現代の若者は幸福度が低い？と言われてはいますが、なぜなのか？どの様な事にストレスを感じているのか？考えてみたいと思います。

現代社会の若者が抱える問題として、少子高齢化や社会保障費の増大、年金支給開始年齢の延長などの問題から、将来に対する漠然とした不安を抱えていることが考えられます。それから、どの様なことじ実際ストレスを感じているか調査してみると、やはり人間関係が上位に挙げられます。これは「幸せテロリア充呪縛」と言われますが、これはSNSで容易に他人の幸せが見えすぎることで感じる不幸せから来ています。こうした仕組みからも、今の時代の10代の「生きづらさ」「自己肯定感の低下」に繋がると感じます。

ちなみに、国民一人当たりのGDPや健康寿命等を指標とした「世界の幸福度ランキング2022」にて日本は54位となっています。上位にはフィンランドやデンマークといった北欧の国々が占めています。ところで、かつて「世界一幸せな国」と広く知られたブータンではGDP(国内総生産)よりGNH(国民総幸福量)を優先する取り組みを行っていました。物質的な豊かさだけでなく、むしろ精神的な徳の高さ、社会的な人とのつながり、家族との絆などが幸福感到強い影響を与えておりましたが、やはりGDPも幸せを下支えしつつ事に必要なのか、またSNS等を通じて周りとの比較を感じる様になったためか、2019年度版で156か国中95位となり、その後のランキングには登場していないという事実もあります。

続いて、都道府県別幸福度ランキング2022で香川県は12位となっています。ただ、これも「幸福度」は、「あなたは幸せですか」という問いに対し、「とても幸せ」「少し幸せ」「どちらともいえない」「あまり幸せではない」「全く幸せではない」の5段階で評価してもらった主観的な調査なので、あまりあてにはならないかもしれません。ちなみに、「幸福について考えるワークショップ」という試みを岩手県では始めている様です。平井慶祐氏の言葉を借りますと、「悲しみを減らすことはできないかもしれないけど、幸福を意識することで喜びを増やすことはできるかもしれない。」



幸福を考えることから幸福が始まる。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

■会員自己紹介

増田 好則(ますだよしのり)会員

【職業案内】

元四国ガス(株)、家庭用商工業にガスエネルギー供給

【好きな言葉】

「失敗を成長と読む」

元プロ野球監督、野村克也氏の言葉。

弱いチームの選手はエラーをしてすぐに交代させては選手は育たない。

誰も失敗する。失敗をして成長したな、と声をかければ選手は育つ。

